

〔全体計画〕

高等部第\*学年 作業コース 職業科学習指導案

日時	令和2年*月*日（*） 13：05～13：55	場所	高等部*年*組教室
指導者	T1：田所 美沙紀 T2：** **		
単元名	「働くために必要な力を知ろう～校内実習を振り返って～」		
本単元で育成する資質・能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職業に関する事柄について理解するとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付けることができる。（知識及び技能）＜1段階＞</li> <li>・将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価し、表現する力を養うことができる。（思考力、判断力、表現力等）＜1段階＞</li> <li>・よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を工夫しようとする実践的な態度を養おうとする。（学びに向かう力、人間性等）＜1段階＞</li> </ul>		
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	・職業生活に必要なとされる実践的な知識及び技能を身に付けようとしている。	・作業や実習における役割を踏まえて、自分の成長や課題について考え、表現しようとしている。	・実習や体験等に達成感を得て、計画性をもって主体的に生活を工夫しようとしている。
単元設定の理由	<p>作業コースは、高等部*年生6名（男子4名、女子2名）で構成される。今年度初めての校内実習・就労体験を終え、少しずつ働くことのイメージを持ち始めている。これまでの作業学習や進路学習をとおして、自分の実践を反省して次の目標を立てる活動を繰り返し行ってきた。「目標を立て、実践し、その反省や評価を行い、次の目標に生かす」という一連の流れに少しずつ慣れ、一人で反省や感想を書くことができている。しかし、自分を客観的に評価することが難しく、自分の課題に気付くことが難しい生徒、欠勤や居眠りなどの自分の行動を振り返ることが容易ではなく、それらの行動を反省として挙げるができない生徒など実態は様々である。実習や体験中の助言や注意に対して、その場ですぐに対応することはできるが、それを自分の課題として捉えることが難しい。そのため適切な自己評価ができず、生活の中で生かすことができない。</p> <p>このような実態から、架空の人物の評価を行い、課題やその解決策を考えながら、自分の課題と照らし合わせる活動を設定した。「他者評価をし、その結果を自分と照らし合わせる」という流れの中で自分の行動を見直したり課題を受け止めたりすることをねらいとしている。生徒の良さや課題を架空の人物の設定として取り上げることで、周りからどう見えているのかを客観的に考えるとともに「社会人」として適切な行動かを問うことで、働くために必要な力を知ったり将来に向けた学習であることを意識したりできるようにする。架空の人物の課題と実習などのアドバイスされたこととを比較させ、自分の良さや課題に気付くことを期待している。実習や体験を適切に評価し自分の課題を知ったりその解決策を考えたりすることが、生活を工夫しようとする力につながると考える。</p> <p>指導にあたっては、友人同士の評価ではなく、架空の人物を設定することで、自己との比較をやすくする。架空の人物の行動をより具体的にイメージすることができるように、写真やイラストを用いたり身近な学習場面での行動を伝えたりする。評価の場面では「なぜ課題となる行動なのか」を、理由を合わせて学習することで、将来の生活と結びついていることに気付かせたい。また、評価だけでなく良いところも評価したり自分の長所を生かした解決方法を考えたりすることで、自己肯定感を高めながら、安心できる学習環境の中で自分の課題を知り自ら解決しようとする力を育てたい。</p>		

	次	時	学習内容・活動	評価規準・評価方法
単元の指導計画 (12時間扱い) 本時は第3時	1 「校内実習を振り返ろう」	1・2 「他者評価をしよう」	<ul style="list-style-type: none"> <li>架空の人物の評価をする。</li> <li>課題解決の手立てを考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>架空の人物の行動を聞いて、課題やその解決策をワークシートに記入している。(知識・技能) [観察, ワークシート]</li> </ul>
		3・4 「自分と比較しよう」 (本時は第3時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>架空の人物の課題と自分の実習を照らし合わせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>架空の人物の行動と自分の行動とを比較し、共通点を見つけ、自分の課題を書くことができる。(思考・判断・表現) [発言, ワークシート]</li> </ul>
		5・6 「生活の目標を立てよう」	<ul style="list-style-type: none"> <li>教員からの評価を知る。</li> <li>自分の課題を見直し、生活の目標を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教員からの評価を知り、自分の課題を改善するための手立てを考え、主体的に生活を工夫しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度) [観察, ワークシート]</li> </ul>
	2 「働くために必要な力を知ろう」	1・2 「働くために必要な力を調べよう」	<ul style="list-style-type: none"> <li>働くために必要な力を調べる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>働くために必要な力について調べたことを、ワークシートに記入している。(知識・技能) [観察, ワークシート]</li> </ul>
		3・4 「分類表をつくろう」	<ul style="list-style-type: none"> <li>調べた内容を分類する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>項目ごとの例示を見ながら、働くために必要な力が書かれた付箋を分類している。(主体的に学習に取り組む態度) [観察, ワークシート]</li> </ul>

[本時の指導]

### 1 本時の目標

○架空の人物の行動と自分の行動とを比較し、共通点を見つけ自分の課題をワークシートに記入している。(思考力・判断力・表現力等)

### 2 生徒の実態及び個別目標

生徒学年 (性別)	生徒の実態	個別目標	自立活動の目標
A 1年 (女)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「接客業に就きたい」と考えている。福祉施設も見学しているが、一般事業所との違いは分かっていない。卒業後の生活の具体的なイメージはない。</li> <li>伝え方、書き方の例示があれば自分の考えを表現することができる。気持ちにムラがあり、分からないことに対して動作や思考が止まってしまうことがある。</li> <li>教師の指示や助言に相槌をするなどして話を聞くことができる。気持ちが不安定になると、黙ってしまったり素直に聞き入れられなかったりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料やiPadなどから架空の人物との共通点を見つけ、「集中力」「協力する」などの課題をワークシートに記入することができる。(思考力・判断力・表現力等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>苦手なことや初めて行うことに対してどのように取り組めばよいかを教師に相談し、気持ちを切り替えて取り組むことができる。</li> </ul>
B 1年 (男)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「給与がほしい」という思いはあるが、勤労意欲はほとんどない。校内実習の欠勤も多く、施設見学の経験も少ない。自分への自信がなく、「できる仕事」「続けられる仕事」への不安感がある。</li> <li>自分の意見を表現することへの苦手意識があ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料やiPadなどから架空の人物との共通点を見つけ、「欠勤」「連絡」などの課題をワークシートに記入することができる。(思考力・判断力・表現力等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分から挨拶をすることができる。</li> </ul>

	<p>るが、教師の助言や選択肢などで考えることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他者の意見を素直に聞き入れ、改善しようとするが、短期的で持続しない。</li> </ul>		
C 1年 (女)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勤労意欲はあるが、具体的な仕事のイメージはない。</li> <li>・自己理解や言語理解が不十分なため、自分の考えを表現することが苦手である。選択肢を提示しても選ぶのに時間がかかってしまう。声の大きさや話す速度などの課題がある。</li> <li>・他者の意見を聞いてメモをとることができるが、内容の理解が難しかったり解決策が分からなかったりすることから、行動に反映できない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・iPad などから架空の人物との共通点を見つけ、「声の大きさ」「メモをとる」などの課題をワークシートに記入することができる。 (思考力・判断力・表現力等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の気持ちを、身近な教師に言葉で伝えることができる。</li> </ul>
D 1年 (男)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ホームセンターで働きたい」と考えている。働くために必要な力について少し理解しているが、学校生活と上手く結びつがず生活に生かせない。</li> <li>・自分の意見を表現することができる。分からないときには自分から相談することもできる。話し言葉で文章を書くなどの課題がある。</li> <li>・他者の意見を素直に聞き入れ、少しずつメモを取ることができるようになってきている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料から架空の人物との共通点を見つけ、「体力」「自分から」などの課題やその解決策をワークシートに記入することができる。 (思考力・判断力・表現力等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内の教員に対し、適切な話し方で会話することができる。</li> </ul>
E 1年 (男)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「工場関係で働きたい」と考えている。働きたい企業などの具体的なイメージはない。健康管理やメモを取ることなど、自ら課題を見つけて生活を工夫しようとしている。</li> <li>・自分の意見を表現することができる。自信のなさから発表は消極的だが、分からないことに対しても自分なりの考えをもつことができる。</li> <li>・他者の意見を素直に聞き入れ、必要なことはメモを取る習慣がついてきている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料から架空の人物との共通点を見つけ、「体調管理」などの課題や解決策をワークシートに記入することができる。 (思考力・判断力・表現力等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合い活動の中で、友達に自分の意見や気持ちを伝えることができる。</li> </ul>
F 1年 (男)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「卒業後・将来」などの不確定なもの考えることへの不安感や抵抗感が強い。自己選択や自己決定の経験が少なく、気持ちが不安定になることが多い。働くことや自立することへのイメージができていない。</li> <li>・伝えたい思いは強いが、自分の考えを整理することに時間がかかる。ホワイトボードなどで視覚的に示したり順序立てたりすると考えをまとめることができる。</li> <li>・「～のときは〇〇する」などと端的に伝えると受け入れることができる。自分の知らない言葉や難しそうな活動があると、素直に聞き入れられず、「知りません。」「できません。」などと拒否感を示す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・iPad などから架空の人物との共通点を見つけ、「質問に答える」「効率を考える」などの課題をワークシートに記入することができる。 (思考力・判断力・表現力等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の話聞き、大まかな内容を相手に伝えることができる。</li> </ul>

3 展開

※形態の表記は 全体：全，グループ：グ，個別：個

形態 時間 (分)	主な学習活動・内容 (必要に応じて配置図等を入れる)	指導の手立て（各Tの役割等）※評価は□で囲む
全 (1)	1 始めの挨拶をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習に望ましい態度で挨拶ができるように，T2が個別に注意を促す。</li> </ul>
全 (5)	2 本時の学習内容を知る。 (1) 前回までの学習を振り返る。 (2) 本時の学習内容を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">○○さんと自分を比較しよう</div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・T1はFが落ち着いて学習に取り組めるように，事前に学習内容を個別に伝えておく。</li> <li>・T1に着目できるようにT2が個別に注意を促す。</li> <li>・学習の流れや使用するワークシートなどを提示することで，見通しをもって活動に参加できるようにする。</li> </ul>
グ (20)	3 グループごとに架空の人物の良いところや課題を整理する。 <Aグループ：C，F> 架空の人物Aさんの良いところや課題を整理する。 <Bグループ：A，B> 架空の人物Bさんの良いところや課題を整理し，社会人として適切な行動か分類する。 <Cグループ：D，E> 架空の人物Cさんの良いところや課題を整理し，社会人として適切か分類したり解決策を考えたりする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto;"> <p style="text-align: center;">「○○さんと自分を比較しよう～資料～」</p> <p>&lt;Aさんの実習の様子&gt;</p> <p>高等部1年生のAさんは，10月に初めての校内実習を行いました。帽子やメモ帳，お弁当などの忘れ物をすることが何回もありましたが，そのことをきちんと先生に報告することができました。</p> <p>始業時間になると，Aさんは集中して静かに作業に取り組みることができました。作業が終わると，必ず報告していましたが「なんで言ったの？」と先生から聞き返されること何回もありました。また，先生に「どうしたら真っすぐ説明書が折れると思う？」と質問されましたが，上手く答えることができませんでした。Aさんは丁寧に御礼をあげていたため，御礼を機に黙ったり間違えたりすることはほとんどありませんでした。時間いっぱい作業することができました。</p> <p>Aさんは日誌を書くことが苦手でいつも時間がかかっていました。着替えが終わるといつも椅子がざりざりになってしまいました。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症対策として「距離をあける」「マスクをする」「向かい合わない」などのポイントを確認する。</li> <li>・速く書くことが苦手な生徒には，「欠勤」「声の大きさ」「体調管理」などのキーワードのみを書くように伝え，整理する活動に集中して取り組むことができるようにする。</li> <li>・Aグループには，良いところと課題を整理することができるようにマーカーで色分けしてからワークシートに記入するよう促す。</li> <li>・B・Cグループには，「どうして社会人として良くないと思うのか。」などと質問することで，働くために必要な力やマナーについて考えたり気付いたりすることができるようにする。</li> <li>・Cグループには，自分でもできそうなことやCさんの良いところを生かした解決策を考えるよう伝え，これからの生活に生かすことができるようにする。</li> <li>・Cグループが解決策を考えることが難しいときには，実習日誌やアドバイスされたことから解決策を探すよう促す。</li> <li>・実習日誌などから解決策を探すことが難しいときには，「体調の良い日と悪い日はなにが違う？」「どんな時に風邪をひく？」などと質問し，自分の生活から解決策を考えることができるようにする。</li> </ul>

**〇〇さんと自分を比較しよう①**

1 Aさんの実習の様子を読んで

良いところ	課題
①	①
②	②
③	③
④	④

2 解決策を考えよう

①
②
③
④

個 4 架空の人物の行動と実習中の  
(20) 自分の行動とを比較する。

- (1) 架空の人物と自分の行動の共通点を見つける。
- (2) 共通点から自分の良いところや課題を知り、ワークシートに記入する。
- (3) 課題の解決策を考え、ワークシートに記入する。

**〇〇さんと自分を比較しよう②**

3 Aさんとの共通点を見つけよう

良いところ	課題、アドバイスされたこと
・	・
・	・
・	・
・	・

4 自分の課題を知らう ⇒ 解決策を考えよう

課題： ⇒
課題： ⇒
課題： ⇒

- ・ 共通点を見つけることが難しい生徒には、実習日誌やこれまでの学習で使用したワークシートから板書と同じキーワードを探すように促す。
- ・ 自分の行動や課題を受け入れることが難しい生徒には、良いところやがんばったところを賞賛しながら課題を伝えるようにする。
- ・ 実習日誌やアドバイスされたことの中から解決策を考えるよう促す。
- ・ B, D, Eには、架空の人物への解決策を参考にするよう促したり、「午後まで集中するためには何が必要？」「どうやって体力をつける？」などと質問をしたりすることで、解決策を考えることができるようにする。
- ・ 他グループで見つけた課題や解決策を板書することで、新たな自分の課題に気付いたり、それを参考に解決策を考えたりできるようにする。

- A 資料や iPad などから架空の人物との共通点を見つけ、「集中力」「協力する」などの課題をワークシートに記入することができる。  
(思考・判断・表現) [発言], [ワークシート]
- B 資料や iPad などから架空の人物との共通点を見つけ、「欠勤」「連絡」などの課題をワークシートに記入することができる。  
(思考・判断・表現) [発言], [ワークシート]
- C iPad などから架空の人物との共通点を見つけ、「声の大きさ」「メモをとる」などの課題をワークシートに記入することができる。  
(思考・判断・表現) [発言], [ワークシート]

		<p>D 資料から架空の人物との共通点を見つけ、「体力」「自分から」などの課題や解決策をワークシートに記入することができる。 (思考・判断・表現) [発言], [ワークシート]</p> <p>E 資料から架空の人物との共通点を見つけ、「体調管理」などの課題や解決策をワークシートに記入することができる。 (思考・判断・表現) [発言], [ワークシート]</p> <p>F iPad などから架空の人物との共通点を見つけ、「質問に答える」「効率を考える」などの課題をワークシートに記入することができる。 (思考・判断・表現) [発言], [ワークシート]</p> <p>架空の人物の行動と自分の行動とを比較し、共通点を見つけ自分の課題をワークシートに記入している。 (思考・判断・表現) [発言], [ワークシート]</p> <p>全 5 本時の学習を振り返る。 (3) (1) 本時の学習を振り返る。 (2) 次時の学習内容を知る。</p> <p>全 (1) 6 終わりの挨拶をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・黒板に掲示することで、友達との共通点を見つけたり友達の良さに気付いたりすることができるようにする。</li> <li>・次時の学習に見通しをもつことができるように、使用するワークシートなどを提示する。</li> <li>・学習に望ましい態度で挨拶ができるように、T2が個別に注意を促す。</li> </ul>
--	--	--

【板書計画】

職業「〇〇さんと自分を比較しよう」

- あいさつ
- 〇〇さんの良い所と課題を探そう  
Aグループ：C, F  
Bグループ：A, B  
Cグループ：D, E
- 〇〇さんとの共通点を探そう
- あいさつ

良いところ	課題	解決策
・	・	→
・	・	→
・	・	→

【配置図】



